

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【公開番号】特開2017-94147(P2017-94147A)

【公開日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2017-2086(P2017-2086)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月16日(2017.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

発光演出を行う発光手段と、

前記発光演出の発光量を調整する発光量調整手段と、

前記有利状態に制御されるかを示唆する複数種類のリーチを実行するリーチ実行手段とを備え、

前記リーチとして、第1リーチと、該第1リーチから発展する第2リーチとを実行可能であり、

前記発光演出として、前記第1リーチの第1リーチ発光演出と、前記第2リーチの第2リーチ発光演出とを実行可能であり、

前記第2リーチ発光演出が実行される前の期間に実行される前記第1リーチ発光演出の発光量を基準発光量より小さい発光量に調整すると共に、該第1リーチ発光演出における演出音の音量を基準音量より小さい音量に調整可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

また、予告対象のタイミングまで、複数のランプが順次点灯していく遊技機が知られている(例えば、特許文献1)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献1】特開2000-350834号公報

【手続補正4】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0005****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0005】**

しかしながら、既にランプが点灯している場合、ランプの新たな点灯が目立ち難い。つまり、あるランプを点灯させる時点において、他のランプの点灯によって既に明るかったり、他のランプの点灯が目立ったりしている場合には、新たに点灯させるランプの点灯が目立ち難くなる。

【手続補正5】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0006****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0006】**

本発明は、上記実情に鑑みなされたものであり、特定の発光演出を目立たせることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0007****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0007】**

(1) 上記目的を達成するため、本発明の一態様である遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、発光演出を行う発光手段と、前記発光演出の発光量を調整する発光量調整手段と、前記有利状態に制御されるかを示唆する複数種類のリーチを実行するリーチ実行手段とを備え、前記リーチとして、第1リーチと、該第1リーチから発展する第2リーチとを実行可能であり、前記発光演出として、前記第1リーチの第1リーチ発光演出と、前記第2リーチの第2リーチ発光演出とを実行可能であり、前記第2リーチ発光演出が実行される前の期間に実行される前記第1リーチ発光演出の発光量を基準発光量より小さい発光量に調整すると共に、該第1リーチ発光演出における演出音の音量を基準音量より小さい音量に調整可能である。このような構成によれば、第2リーチ発光演出の実行開始前の期間において、第1リーチ発光演出の発光量は基準発光量より小さい発光量に調整されるため、第2リーチ発光演出の実行開始時において、第2リーチ発光演出の発光量は第1リーチ発光演出の発光量に比べ相対的に大きくなり、第2リーチ発光演出を該第2リーチ発光演出の実行開始時において目立たせることができる。従って、演出効果を高め遊技興趣を向上させることができる。また、第2リーチ発光演出自体の発光量を増やすことなく第2リーチ発光演出を目立たせることができる。